

山口県農業試験場跡地利用基本構想について

1 策定趣旨

令和5年4月に「農林業の知と技の拠点」に移転・統合される県農業試験場について、その跡地の利活用を総合的かつ効果的に進めるため、地元山口市と連携し、跡地の利活用に係る基本構想を策定する。

2 跡地利用の方向性等

県農業試験場跡地を活用した「未来のまち」の構築に向け、以下の対応方針、コンセプト、プロジェクトで取り組む政策テーマを設定

【対応方針】

「やまぐちの未来のまち創造プロジェクト」の実施

【「未来のまち」のコンセプト】

みんなで紡ぐ 幸せのまちづくり

～誰もがつながり合い、共に活躍し、心豊かな生活が続いてゆくまち～

【プロジェクトで取り組む政策テーマ】

I 生涯活躍のまちづくり

- 高齢者をはじめ、多様な人々がそれぞれの個性を尊重し、希望に応じて能力を発揮することで、健康でアクティブに活躍することのできるコミュニティの創造（イメージ）
 - ・誰もが居場所や役割をもってつながるまち（高齢者や子育て世帯向け集合住宅、障害者向け就労支援事業所等）、公園、地域交流センター、グラウンド、子どもの遊び場、若者等の集いの場、生活利便施設 等

II スマートシティの実現

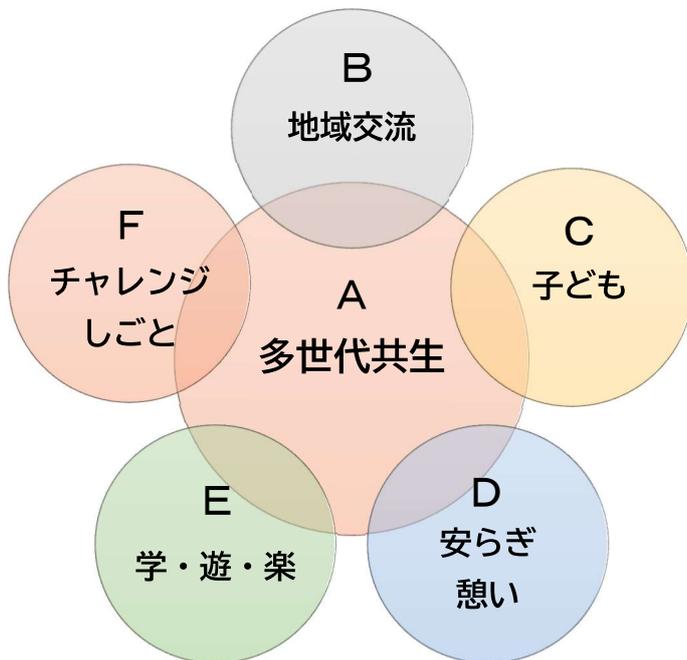
- 光ファイバや5G等による情報通信環境を整え、都市機能の最適化と暮らしの利便性・快適性向上に向けた様々な「やまぐちDX」の社会実装（イメージ）
 - ・エリア内における業務や活動の効率性・快適性の確保
 - ・防災・防犯面での高いセキュリティの確保

III 脱炭素化の推進

- 省エネルギーのための幅広い取組と再生可能エネルギー等の積極的な導入により、脱炭素社会のモデルとなるまちづくりに挑戦（イメージ）
 - ・省エネ・創エネ・蓄エネ関連設備の整備
 - ・環境にやさしく、災害に強いまちづくりの推進

3 ゾーニングの考え方について

「みんなで紡ぐ 幸せのまちづくり～誰もがつながり合い、共に活躍し、心豊かな生活が続いてゆくまち～」を構築するために必要と考える構成要素を設定



[取り入れる構成要素]

- A 高齢者をはじめ、多様な人々がそれぞれの役割をもって活躍できる「多世代共生」
- B 大内地域交流センターやグラウンドを核とした「地域交流」
- C 未来ある「子ども」のための遊び場
- D 公園などの「安らぎ・憩い」の場
- E 誰もが学び・遊び・楽しめる「学・遊・楽」
- F 多様な人々がそれぞれの個性に応じた夢と希望が叶う「チャレンジ・しごと」

4 民間活力の導入等

適切な官民の役割分担の下、積極的な民間活力の導入を図ることとし、PFI事業の導入など様々な事業手法を検討

また、事業用地は、開発資金調達の負担軽減を図るとともに、県として一定の権限行使を留保するため、長期有償貸付を基本に検討

5 今後の事業の進め方（予定）

